

第 24 回バイオ治療法研究会学術集会学術集会

新たなイムノジェノミクスの応用

プログラム

特別企画プログラム ※Zoomにて配信いたします。

(LIVE 配信日時は 12 月 5 日 16:30~18:30 (予定)、録画配信日時は 12 月 7 日 (月) 12:00~13 日 (日) 23:59 です。)

○特別講演

座長: 宮本新吾 (福岡大学医学部産婦人科)

1. がんネオアンチゲン療法の 25 年を振り返って

演者: 中村 祐輔 先生 (公益法人がん研究会がんプレジジョン医療研究センター・所長)

2. ゲノムシーケンスデータからのネオアンチゲン予測と特異的 T 細胞の誘導

演者: 清谷 一馬 先生、中村 祐輔 先生 (がん研究会がんプレジジョン医療研究センター・免疫ゲノム医療開発プロジェクト・主任研究員)

3. 進行がんにおけるネオアンチゲンペプチド樹状細胞のリンパ節内投与によるワクチン療法

演者: 森崎 隆先生 (福岡がん総合クリニック院長)

○一般演題1:臨床医学と癌治療

1. 肝細胞癌の術後肝不全を予測する最適な術前肝機能評価法
福富 章悟、菅野 裕樹、小嶋 聡生、室屋 大輔、野村 頼子、後藤 祐一、
赤司 昌謙、酒井 久宗、久下 亨、奥田 康司
(久留米大学外科学講座)
2. 食道癌術前化学療法の効果予測因子における癌幹細胞マーカーの有用性に関する検討
阿河 杏介、山下 公大、中川 暁雄、山田 康太、渡部 晃大、瀧口 豪介、
裏川 直樹、長谷川 寛、山本 将士、金治 新悟、松田 佳子、松田 武、
押切 太郎、中村 哲、鈴木 知志、掛地 吉弘
(神戸大学大学院医学研究科 食道胃腸外科学分野)
3. ロボット支援下の子宮体癌根治術におけるラーニングカーブについて: 単一術者による81症例の検討
赤澤 宗俊、橋本 和法
(東京女子医科大学 東医療センター)
4. 髄膜癌腫症に合併した水頭症に対する髄液シャント術の治療効果
吉岡 宏真¹、奥田 武司¹、中尾 剛幸¹、藤田 貢²、高橋 淳¹
(¹近畿大学病院脳神経外科、²近畿大学医学部微生物学)
5. 進行卵巣癌に対する術前化学療法(NAC)6サイクルの有効性・安全性および予後の検討
近藤 英司、二村 涼、真木 晋太郎、金田 倫子、二井 理文、吉田 健太、
池田 智明
(三重大学産科婦人科)
6. 高度肥満子宮体癌(BMI $\geq 30\text{kg}/\text{m}^2$)に対する Minimally Invasive Surgery(MIS)の検討
吉田 健太、近藤 英司、二村 涼、真木 晋太郎、二井 理文、金田 倫子、
桂木 真司、池田 智明
(三重大学産科婦人科)

7. 子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清の経腹膜・後腹膜アプローチ併用の腹腔鏡下手術の有用性～開腹、腹腔鏡下手術の比較検討～
金田 倫子、近藤 英司、二村 涼、真木 晋太郎、二井 理文、吉田 健太、
鳥谷部 邦明、池田 智明
(三重大学医学部附属病院 産科婦人科)

8. 晩期再発卵巣癌の臨床的特徴
重川 浩一郎、宮原 大輔、吉川 賢一、伊東 智宏、四元 房典、宮本 新吾
(福岡大学医学部産婦人科)

○一般演題2:基礎医学と癌治療

1. 膵癌における TrkB/BDNF シグナルの生物学的意義解析
大西 秀哉¹、大山 康博¹、那 琳¹、益田 昌吾¹、長尾 晋次郎¹、古賀 智子¹、
一宮 脩¹、藤岡 寛¹、中山 和典¹、森崎 隆²
(¹九州大学医学研究院腫瘍制御学分野、²福岡がん総合クリニック)
2. 進行・再発乳癌に対する免疫細胞療法の予後規定因子に関する検討
瀧本 理修^{1,2,3}、神垣 隆^{2,3}、岡田 佐知子²、井邊 寛²、小熊 恵利²、後藤 重則^{1,3}
(¹医療法人滉志会 瀬田クリニック東京、²医療法人滉志会 瀬田クリニックグループ 臨床研究・治験センター、³順天堂大学 次世代細胞・免疫治療学)
3. トリプルネガティブ乳癌における腫瘍組織浸潤リンパ球とグランザイム B に着目した機能解析
川地 眸、久保 真、甲斐 昌也、倉田 加奈子、森 瞳美、金城 和寿、林 早織、
原田 由利菜、島崎 亜希子、森崎 隆史、山田 舞、中村 雅史
(九州大学 臨床・腫瘍外科)
4. 腹膜播種における腹腔内 M D S C の役割
山下 公大、杉田 裕、山田 康太、阿河 杏介、渡部 晃大、福岡 英志、瀧口 豪介、裏川 直樹、
長谷川 寛、山本 将士、金治 新悟、松田 佳子、松田 武、押切 太郎、中村 哲、鈴木 知志、
掛地 吉弘
(神戸大学大学院医学系研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野)

5. HBOCを疑う乳がん既発症者へのBRCA1/2遺伝学的検査の対象拡大における取り組みと課題
林 早織、久保 真、鹿田 佐和子、島崎 亜希子、原田 由利奈、川地 眸、森 瞳美、金城和寿、山田 舞、甲斐 昌也、中村 雅史
(九州大学大学院 臨床・腫瘍外科)

6. 白血病幹細胞の分化と増殖を標的とした新規白血病治療法の開発
竹立 恭子¹、大野 芳典^{1,2}、白須 直人²、大坪 素秋^{1,3}、瀧原 義宏^{1,4}、安永 晋一郎^{1,2}
(¹広島大・原医研・幹細胞機能学、²福岡大・医学部・生化学、³別府大・食物栄養科学部・発酵食品学科、⁴日赤・大阪府赤十字血液センター)

7. ER陽性HER2陰性乳癌におけるctDNAコピー数異常の解析
島崎 亜希子、久保 真、倉田 加奈子、山田 舞、林 早織、川地 眸、金城 和寿、森崎 隆史、森 瞳美、甲斐 昌也、中村 雅史
(九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科)

8. HER2陽性判定基準の改訂に伴う適応症例選別の検証
山田 舞、久保 真、甲斐 昌也、高尾 由佳、島崎 亜希子、林 早織、原田 由利菜、金城 和寿、川地 眸、森崎 隆史、森 瞳美、中村 雅史
(九州大学大学院 臨床・腫瘍外科)

○一般演題3: 癌と分子機構

1. 北海道産クマザサ葉エキスの免疫細胞に対する影響
若命 浩二¹、佐藤 恵亮¹、小松 健一¹、羽毛田 薫²、稲川 裕之^{3,4}
(¹北海道科学大学 薬学部、²株式会社白寿生科学研究所、³自然免疫制御応用技術研究組合、⁴新潟薬科大)

2. リアルタイム薬剤検出システムの構築試行:ミトコンドリア酸素消費速度を利用した担体からの薬剤放出特性の解析
田端 厚之¹、立松 洋平²、大倉 一人²
(¹徳島大学大学院創成科学研究科、²鈴鹿医療科学大学大学院薬学研究科)

3. D-dopachrome tautomerase はヒト肝がん細胞株 HepG2 の細胞増殖を促進する
高橋 飛鳥、岩田 武男、山下 菊治
(新潟薬科大学 薬学部 機能形態学分野)

4. VDAC および KDELR を標的とする低分子化合物 STAR2 は変異 KRAS 関連シグナルを抑制する

角田 俊之^{1,2}、橋本 小百合¹、永井 正義²、西 憲祐¹、石倉 周平^{1,2}、白澤 専二^{1,2}
(¹福岡大学医学部 細胞生物、²福岡大学基盤研究機関先端分子医学研究所)

5. 新しいバイオマーカーになりうる血漿中の 31 塩基 Y4-RNA 断片

石川 達矢¹、灰野 亜理沙¹、関 峰秋¹、栗原 太郎²、広瀬 貴之²、今井 洋介²、
石黒 卓郎²、張 高明²、豊島 宗厚³、寺田 弘¹、梨本 正之¹
(¹新潟薬科大学 健康・自立総合研究機構、²新潟県立がんセンター新潟病院、
³新津医療センター病院)

6. チロシン脱リン酸化酵素(PTPN3)は新規膀胱癌治療法の標的となりうる

山崎 章生^{1,2}、大西 秀哉¹、梁井 公輔^{1,3}、森崎 隆⁴、中村 雅史³
(¹九州大学腫瘍制御学、²嘉麻赤十字病院、³九州大学臨床・腫瘍外科、
⁴福岡がん総合クリニック)

○一般演題4: 癌と関連した生物事象

1. LPS 経口投与による streptozotocin 誘発糖尿病マウスにおける認知障害の予防効果

溝渕 悠代¹、山本 和史¹、稲川 裕之^{1,2,3}、河内 千恵^{1,3}、杣 源一郎^{1,2,3}
(¹自然免疫制御技術研究組合、²新潟薬科大学、³自然免疫応用技研株式会社)

2. LPS_p 経口摂取による脂肪組織の炎症抑制・インスリンシグナル上昇効果

山本 和史¹、溝渕 悠代¹、山下 雅史¹、稲川 裕之^{1,2}、杣 源一郎^{1,2}
(¹自然免疫制御技術研究組合、²新潟薬科大学)

3. tRNase Z^S は RNA(+)鎖ウイルスの感染により転写誘導される

関 峰秋、石川 達矢、高橋 昌幸、梨本 正之
(新潟薬科大学健康・自立総合研究機構)

4. 活性化単球系細胞を介した脂肪細胞の炎症性反応制御

本田 晃子¹、稲川 裕之^{2,3}
(¹麻布大学生命・環境科学部臨床検査技術学科、²自然免疫制御技術研究組合、
³新潟薬科大学健康・自立総合研究機構)

5. 瞬芽ブドウ種子成分のアトピー性皮膚炎モデルマウスに対する改善効果
田坂 徹^{1,2}、井土 侑香¹、小林 彩¹、藤井 理¹、山田 久嗣¹、永尾 司³、
永尾 公基³、永尾 侑士³、宇都 義浩¹
(¹徳島大学大学院社会産業理工学研究部、²株式会社皇漢薬品研究所、
³株式会社フィジカル)
6. MAF 化タンパク質によるマクロファージの迅速な貪食能活性化における Annexin A2 の関与
川勝 薫平¹、前村 美里²、勢田 佳加²、岩崎 哲史³、宮本 昌明⁴、日下部 良子⁴、
西方 敬人^{1,2}
(¹甲南大学 フロンティアサイエンス研究科、²甲南大学 フロンティアサイエンス学部、
³神戸大学 バイオシグナル総合研究センター、⁴神戸大学 研究基盤センター)